

# 皆で咲かそう花菖蒲

亀山市 菖蒲まつり実行委員会 (H22/6)

亀山市では、昭和49年に市の花を「花菖蒲」に指定しています。

34年余りが経過した平成10年には、現在の「花菖蒲園」が開設され 6月には「菖蒲祭り」も開催され現在に至っています。

しかし畑栽培は事の外むずかしく、連作障害が大きな壁となっており本年も欠株・生育むら等がひどい状況となっています。

最近では「リゾクトニア性立ち枯れ」などもクローズアップされ、畑土交換と株分け・土壌改良剤の多投と湿害を出さない為の「間断灌水」が重要となっています。

でも鉢植については、以外と管理がしやすく家庭でも簡単に栽培する事が出来ます。是非皆さんも一度「市の花」花菖蒲の栽培に挑戦して下さい。



花菖蒲 (花言葉 優しい心 5月5日の誕生花)

昭和44年に「三重県の花」に指定される。

県下には伊勢神宮の勾玉池・明和町斎宮の森・桑名市の九華公園などに花菖蒲園がある。

亀山市では昭和49年に「市の花」に指定された。

ホームページでは「市の花菖蒲園」の開花を「寄り添い競い合って咲く花」「あたたかい光を 一身に受け凜として咲く花」と紹介しています。

まさに天をつく蕾と開花は、未来の亀山市が目指すものです。

今日来園の皆様も「花菖蒲の栽培」して頂き、今後も市の花への応援をお願いします。

## 鉢植え栽培のポイント

### ① 花後すぐに「植え替え株分け」(梅雨の期間内に)

花が終わったら早く株分け

「1」用土は肥料分のない土(畑土・水田土・山土・赤玉土+バームキューライト等)

「2」鉢から取り出し土をきれいにふるい、根茎を1~2芽ずつに細根を傷めない様カット。同時に葉も30センチ位にカットし浅植えをする。

「3」乾燥しないように水管理。

### ② 秋の十分に肥やす

元肥の施肥・止め肥施肥・芽出し施肥

「1」8/下 有機固形肥料・IB化成など。

「2」10月 化成肥料

「3」2/下 IB化成など。

### ③ 病虫害防除の徹底

3~5月・10月

「1」3/上より オルトラン粒を月1回散布・

「2」ナメクジ・コガネムシの幼虫などに注意

### ④ 3~10月のこまめな「間断灌水」

絶えず浸水すると 根腐れ・立ち枯れ 乾燥すると生育不良となるので注意



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
生育周期と主な管理作業	休眠期		P 苗捕植	茎葉伸長期					来年に備え十分に肥を効かす(完熟落ち葉堆肥と化成)			休眠期		
			萌芽期	早期防除	春～夏場のこまめな間断灌水			分けっ期				枯葉刈取り 有機芽だし肥		
			花芽分化形成期			開花期	欠株捕植	結実期	栄養充実期					
	草取りは手遅れにならない様に													
防除			3/13 オルトラン粒 11Kg	3/25 DDVP(×1000) トップジンM(×600) 500L			4/11 スミチオン(×1000) 500L			4/28 マラソン(×1000) 500L			5/7 スミチオン(×1000) 500L	
	亀山公園花菖蒲ではこんな管理をしているよー					5/15 オルトラン粒 11Kg			8/上 オルトラン粒 11Kg					
			連作障害がひどいよー。畑を替えないで栽培すると立ち枯れ病も多く出て育たないよー。せめて土を替え畑環境を改善して下さい。			7/上の早い株分								
施肥 他	寒芽分 P 苗育苗								8/3 元肥 IB-S1大粒(10・10・10) 120Kg 完熟堆肥 IB 覆施肥 3t (自家生産落ち葉堆肥)			12/18~20 寒肥 発酵豚糞 2.5t 株元厚敷施肥		
栽培のポイント	必ず守ってねー		 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 日当たりの良い所で栽培してねー。</li> <li>(2) 水草と思わないでねー。いつも水を浸けていると、湿害や病気(リゾクトニア)が出ます。でも5・6月～夏場は水は十分な間断灌を。</li> <li>(3) 秋には十分に肥やして来年にそなえる(盆過ぎにはたっぷり施肥)</li> <li>(4) 株分けは必ずしてねー(畑は土を替え3年 鉢も土を替え1年) 株分けは花が終わったら一刻も早く。</li> <li>(5) 1・2月に 混み株を抜き取り、寒芽分け育苗も有効な手段です。</li> <li>(6) 11月には落ち葉堆肥作り(8月までに良質の完熟堆肥を)</li> </ul>											